

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目 次

■活動報告

2022年度全国自転車計測員会議 報告

2023年2月23日(木・祝)に2022年度全国自転車計測員会議を、日本陸連会議室とWEB会議システムを併用して開催しました。

ワールドランキングコンペティションについて

ワールドランキングポイントや国際大会の資格記録、世界記録やアジア記録として認定されるためにはワールドランキングコンペティション(WRK大会)として申請し、開催申請をしなければいけません。この制度は2023年1月から始まっています。

第29回JAAFコーチングクリニック報告

2023年3月5日(日)に第29回JAAFコーチングクリニックをオンライン形式で開催しました。

■大会観戦ガイド

第25回長野マラソン

兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼 マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ

ワールドアスレティックスコンチネンタルツアーゴールド

セイコーゴールデングランプリ陸上2023横浜

■事務局からのお知らせ

セイコー GGP チケット先行販売3月14日(火)、一般販売3月21日(火・祝)よりスタート!

第107回日本選手権 第1弾キービジュアル公開:6月1日(木)~6月4日(日)

大阪で日本一が決まる!!

日本グランプリシリーズ2023 キービジュアル公開!

『全員と闘え。』種目を超えた陸上競技の新たな闘い

information

- ・ 個人情報の共同利用について

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16577/>



- ・ 日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・ WRK対象競技会/広告規程について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・ 陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・ 代表選手派遣大会選考要項 2023年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15943/>



- ・ 代表選手派遣大会選考要項 2024年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16334/>



- ・ 代表選手派遣大会選考要項 2025年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17671/>



- ・ アンチドーピング/鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・ 【ブダペスト世界選手権】

エントリースタンド

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202208/24_100216.pdf



2022年度全国自転車計測員会議 報告

日時：2023年2月23日（木・祝）9：30～15：00

場所：施設用器具委員会メンバー／日本陸連会議室

全国自転車計測員／WEB会議（Googlemeet）

《出席者》

高木委員長、福島副委員長、苅垣副委員長、山口幹事、米岡幹事、大島委員、塚野委員、稲垣委員、横山委員、川嶋委員、渡辺委員、飯村本部検定員、吉澤課長、工藤、肥田野（事務局）（以上、日本陸連事務局から参加）

都道府県自転車計測員72名（各々からオンライン参加）

進行：飯村本部検定員

1. 開会の言葉 施設用器具委員会 副委員長 福島 信久

2. 挨拶 施設用器具委員会 委員長 高木 良郎

自転車計測員にはA・B・C級と区分がある。WA認証コースの競技会では、世界記録、アジア記録の認定において、競技に先立ち、正式に計測され記録された通りのコースであることを確認しなければならない。計測を行ったA級、B級の計測員の他、その計測員に指名されたものが確認を行うことになるため、自転車計測員の方々は責任ある立場という自覚をもって取り組んでいただきたい。

3. 自転車計測員について 高木委員長

●検定制度

1986年から国内で自転車計測員が任命され、2022年の公認競走路・競歩路の数、競走路235、競歩路10。新型コロナウイルスの影響により減少傾向となっているが、2019年程度まで（計：263件）回復すると想定している。

●自転車計測員への委嘱

会議や実技研修等の受講後、専務理事から委嘱される。検定用貸与品の計測用カウンター、計測用ベストについて大切に扱うこと。

●自転車計測員の役割

コース計測の他、大会当日コースが正しく設定されているか確認する役割を担う。

●自転車計測員の心構え

検定業務については誤解のないように、誰が、どこに行っても同様の方法で検定業務を行うように努める。

公認の決定、指導回答は施設用器具委員会の審査により決定となるので、所見を述べ、施設用器具委員会の審査を待つことになる。

申請者には傷害保険の加入を義務付けている。計測時に保険に加入しているか確認すること。

4. 自転車計測の注意事項 施設用器具委員会 副委員長 福島 信久

●申請の流れ（新規・継続・一部変更）

申請書は、最新の書式をダウンロードし、申請する。早く検定を受けたい場合は公認期間を切り捨て、公認日を変更する対応をすることになる。公認大会を実施するところを都道府県陸協の確認を得て、申請となる。

●事前調査

計測に当たり、申請者へ計測当日、大会当日、警察・道路管理者の許可を得ているか、新設や一部変更の計測では距離の調整をどこで行うか確認すること。

交差点では右折、左折のコース取りを確認すること。走行する部分にテープを貼り、写真を撮り、大会当日に走行するコースや

コーンの設置位置がわかるようにすること。

●ポイント図・高低図及び経路図の作成

ポイント図・高低図、経路図は、写真を付けるなどするとおよい。

5. 実測距離計算の演習問題 施設用器具委員会 委員 塚野 武史

事前課題として実施した演習問題について、説明を行った。

●今回からの統一事項

・平均温度は小数点以下2桁まで。・温度補正值は小数点以下7桁まで。・カリブレーションコース修正はcm以下2位まで。・カリブレーションデータ用紙では平均カウント、1000mあたりのカウント数、作業定数、終了定数、測定日の定数について、いずれも小数点以下2桁まで。・コース計測データでは累積距離はcmまで。・調整後の距離は8桁で計算を行う。・実測コースの距離はcmまで。

6. 実測報告書の作成 施設用器具委員会 副委員長 刈込 英昭

●検定の注意事項

プレカリブレーション、ポストカリブレーションでは2往復（4本走行）する。最小と最大のカウントが2カウント異なっていたときには追加で走行し、4つの数字がそろるようにする。

スタート地点修正ではスタート地点を進行方向と逆に移動して距離を延ばすときには（+）、進行方向へ移動し距離を短くするときは（-）と表記すること。

●自転車計測員会議での確認事項

距離の修正について、継続検定では前回の数値と比較し、マラソンでおよそ+5m、ハーフマラソンでおよそ+3m、10km以下およそ+1m、各ポイントの修正およそ+1mまでの差異は距離の修正は行わない。マイナスの場合はその差異の修正を行う。

同じ道路を使用しても進行方向を逆に変更する場合、一部変更ではなく、新設コースとして取り扱うこと。

長距離競走路・競歩路実測調査報告書記載注意点についての説明。

7. 国際道路コース計測員について 施設用器具委員会 副委員長 福島 信久

●国際道路コース計測員の役割

A級もしくはB級の計測員によって計測されたものでなければならない。

競技中、先導車に乗り、競技者が計測されたコースと同じコースを走っていることを確認すること。

当日のコース設営が正しくなされているか有資格者が確認していないければ世界記録、エリア記録にならない。

WRkでは、C級計測員でも大会当日の派遣を指名されることがある。

●国際道路コース計測員への昇格について

報告書の作成、正確な距離の計測、事前の調整、後輩への指導などを踏まえ、B級への推薦を行う。

B級計測員には、新設コースについての判断ができることも求められている。

●大会派遣報告書について

B級計測員には「国際道路コース計測員」の派遣があり、当日コース確認の役割がある。大会派遣報告書の提出をする。

8. 終了証授与 高木委員長

参加者代表 渡辺圭介（東京）

9. 閉会の言葉 施設用器具委員会 副委員長 刈込 英昭



WEB会議には全国の自転車計測員72名が参加した



参加者を代表して渡辺圭介氏（東京）が高木委員長から終了証を授かった

ワールドランキングコンペティションについて

日本陸上競技連盟 競技運営委員会

昨年（2022年）までは特に申請がなくてもWAに記録申請を行っていました。

主催者から英語表記のリザルトが提出されなくても、英語表記の氏名や生年月日を登録データベースから拾い、WAに記録申請していましたが、今後は開催申請→記録申請といった流れを踏まなければなりません。

ワールドランキングポイントや国際大会の資格記録、世界記録やアジア記録として認定されるためにはワールドランキングコンペティション(WRk大会)として申請し、開催申請をしなければいけません。この制度は2023年1月から始まっています。

まず、開催申請をします。

必要項目は、大会名（英語名称）、大会会場（英語名称）、大会期日、WRk実施種目（年齢カテゴリー+種目名）、大会情報掲載ページURL、大会記録掲載ページURL、大会情報発信ページURL（streaming page情報など）、大会問い合わせ先（メールアドレスなど）、競歩種目実施（U20U18は除く）の場合IRWJ 3名の氏名などを入力し、大会開催の60日前までにWAに申請します。国内では、地区陸協・学連→日本陸連→WAという手順を踏みますので、余裕をもって申請をしてください。

申請が完了するとWAのカレンダーに大会の詳細な情報が載りますので、必ず確認してください。申請には申請料がかかります。2023年3月現在、4000円となっています。請求は申請とは逆に時期を分けて、WA→日本陸連→地区陸協・学連と降ろしますので、納入してください。

次は大会運営についてです。

WAルールに準拠した運営を行います。WAルールとJAAFルールには若干の違いはありますが、基本的には国内で運営されているやり方にかまいません。したがって、SISの使用は任意です。走幅跳・三段跳の計測方法も従来日本で行っている透過式計測器（着地場所を横から覗いて計測するタイプの計測器）の使用も可能です。ただし、アジア記録や世界記録が誕生したときには注意

が必要です。投てき物に関しても日本陸連検定済のものを使用します。ただし、走幅跳・三段跳で粘土板を使用すること、あるいはビデオ等による踏切判定を行うことや投てき競技で1投てき1計測は当たり前のことです。審判員の人数が少ないからできないというのは言い訳にはなりません。また、シューズに関して適用除外の通知が出ていますが、WRk大会では一切適用除外は認めません。

大会終了後の記録提出についてです。

大会終了後24時間以内に大会結果をエクセル形式(xlsx.csv.)などで提出します。個人を特定しやすくするため、氏名（英語表記）+生年月日+国籍（3文字）を入れて、リザルトを提出するように求められています。通常の選手権ではRound1→Semi-Final→Finalとラウンドが進みます。順位ポイントはFinalの順位で付きます。記録会形式の競技会ではトラック競技はFinals Heat1.2.3と記載し、1レースごとの記録を申請します。総合順位を付けて提出することも可能です。その際は実際に行われてレースと総合順位を区別ができるよう総合順位のRound欄にFinalと記載してください。フィールド競技については行った全試技を申請します。もちろん風速が必要なものは風速も申請します。

大会運営や提出された記録に疑義が生まれるとWAから調査が入ります。その調査で不正が認められると重いペナルティが課せられることもあります。安心して安全な競技会運営を心掛けるとともに、公正で公平な競技会運営の実施もお願いいたします。

第29回JAAFコーチングクリニック報告

指導者養成委員会 幹事 森 健一

第29回JAAFコーチングクリニックを2023年3月5日(日) 13:00～16:40にWeb会議システムを利用してリモート形式で開催した。受講生は51名であった。本クリニックはコーチングにおけるヒントや動向などを伝える講習会(コーチングクリニック)として、陸上競技はもとより、指導における広い世界を共有し、新しい知識や情報を得て、指導現場で活かして頂くことを目的としている。

また、本クリニックは日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更新研修としても位置付けている。

クリニックのテーマを「選手の横に立つとき～“わがまま”をエネルギーに～」とし、4部構成で行った。

第1部では「指導者への期待～社会の求める姿～」として、山本浩氏(指導者養成委員会委員長、法政大学教授)に担当いただいた。指導者に対する社会からの要請、指導者に対する期待についてお話しいただき、各国の指導者養成の実情も踏まえながら本クリニックの開催意義についても講義いただいた。山本氏には引き続き、第2部および第3部で吉田氏と前田氏の講義後に、質疑応答形式による対談のコーディネーターとしても登壇いただいた。

第2部では、「鍛えるを問い直す」として吉田真希子氏(日本陸上競技連盟オリンピック強化コーチ、東邦銀行陸上競技部監督)に担当いただいた。選手時代と指導者としての現在の立場から、鍛えることについて講義いただいた。努力の方向性の考え方について、「時間や労力をかけるだけのこと、ただ頑張った、一生懸命にやっただけのこと」ではなく、「できないことをできるようにすること、できなかったらできるまでやる」という信念のもと、トレーニングについて考えていたとのことであった。

第3部では、「わがままをエネルギーに」として前田弘氏(2022FIFAワールドカップ日本代表チーフトレーナー)に担

当いただいた。日本サッカー協会がコンディショニングの柱としている4つ(トレーニング、食事、睡眠、リカバリー)について説明いただいた上で、日常生活の重要性について講義いただいた。練習時間が2時間であれば、残りの22時間が日常生活となるため、普段の生活が選手としての結果にあらわれるとのことであった。

今回のクリニックでは、第2部と第3部において講義によるインプットに加えて、受講生同士でのグループディスカッションによるアウトプットの時間も設けた。講義内容について普段の指導に当てはめ、振り返ってもらった。ディスカッションで出された意見については、チャットにて全体に共有するとともに、各部において2つのグループの代表者に口頭で発表いただいた。普段の指導で考えていること大切にしていることなど、貴重な意見が発表され、講義内容をさらに深めることができたと思われる。

第4部では、「選手の横に立つとき」として吉田氏、前田氏を中心にフリーディスカッション形式でお話いただいた。競技者、指導者、トレーナーとしてどのように選手と向き合うか、育成方針や女性選手との接し方、選手の個性(わがまま)をどのように捉えるかなど、自身の経験を踏まえながらの議論であった。第1部から第3部までを振り返りながら、普段から指導者として対応しなければならない内容について広くお話しいただいた。また、サッカー界からみえる陸上界、陸上界からみえるサッカー界についても議論いただき、競技間の違いや共通点から指導に役立つ内容もあり、テーマを深められる議論になったと思われる。

本講習会を通じて、スポーツの種目の垣根を越えた様々な学びがあったことと思う。今後もリモート学習を含めた各種研修会やクリニックを開催し、指導者の学びを支援していきたい。



左から山本氏、前田氏、吉田氏

大会観戦ガイド

第25回長野マラソン

兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ
兼 マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ

- ▼期日：2023年4月23日（日）午前8時20分スタート
- ▼種目：マラソン（42.195km）
- ▼コース：長野マラソン長距離競走路（日本陸連公認、AIMS公認）
スタート：長野運動公園（長野市吉田）
フィニッシュ：長野オリンピックスタジアム（長野市篠ノ井東福寺）
- ▼問合せ先：長野マラソン大会組織委員会事務局
TEL：026-217-2490 FAX：026-217-2498（平日9：30～17：00 ※土日・祝日・12/29～1/3を除く）
- ▼大会ページ：
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1752/>

ワールドアスレティックスコンチネンタルツアーゴールド セイコーゴールドングランプリ陸上2023横浜

- ▼期日：2023年5月21日（日）
- ▼場所：
日産スタジアム（〒222-0036横浜市港北区小机町3300）
- ▼アクセス：JR東海道新幹線・JR横浜線「新横浜駅」から

- 徒歩14分
- 横浜市営地下鉄「新横浜駅」から徒歩12分
- JR横浜線「小机駅」から徒歩7分
- 羽田空港から
 - ・京浜急行空港バス「新横浜」まで35～40分
 - ・京浜急行→JR横浜線「新横浜駅」もしくは横浜市営地下鉄「新横浜駅」まで約45分
- 東京駅から
 - ・JR東海道新幹線「新横浜駅」まで18分
 - ・JR東海道本線→JR横浜線「新横浜駅」まで約45分

▼種目：

【男子】9種目

- 100m、400m、3000m、110mハードル、400mハードル、3000m障害物、走高跳、走幅跳、やり投

【女子】6種目

- 100m、1500m、3000m、100mハードル、走幅跳、やり投

▼問合せ先：【日本陸上競技連盟・事務局】

- 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
- JAPAN SPORT OLYMPICS SQUARE 9階
- TEL：050-1746-8410（土・日祝日を除く10:00～18:00）

▼大会ページ：

- <https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1754/>

▼特設サイト：<http://goldengrandprix-japan.com/>



写真：フォート・キシモト

事務局からのお知らせ

◆◆セイコー GGP チケット先行販売3月14日(火)、一般販売3月21日(火・祝)よりスタート!◆◆

2023年5月21日(日)に日産スタジアム(横浜)で開催する「セイコーゴールデングランプリ陸上2023横浜(セイコー GGP)」のチケット販売概要が決定しましたのでお知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17603/>



▼特設サイトはこちら

<https://goldengrandprix-japan.com/>



◆◆第107回日本選手権 第1弾キービジュアル公開:6月1日(木)~6月4日(日) 大阪で日本一が決まる!!◆◆

2023年6月1日(木)~4日(日)に開催する「第107回日本陸上競技選手権大会」まであと3か月!この度、大会キービジュアル第1弾が完成しましたのでお知らせいたします。日本の王者が決まる日本選手権。本大会は「ブダペスト2023世界選手権」「バンコク2023アジア選手権」「杭州2022アジア競技大会」3つの国際大会の日本代表選手選考競技会を兼ねており、王者誕生と同時に「世界」への挑戦が始まります。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17569/>



▼特設サイトはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/jch/107/>



◆◆日本グランプリシリーズ2023 キービジュアル公開!『全員と闘え。』種目を超えた陸上競技の新たな闘い◆◆

「日本グランプリシリーズ2023」が4月8日(土)開幕!

この度、今シーズンのキービジュアルが完成しましたのでお知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17551/>



▼種目配置・ポイント制度はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/gp-series/news/article/17440/>



▼特設サイトはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/gp-series/>



2023 05 21 チケット販売概要決定
3/14(火)~3/19(日)
日本陸連登録会員 先行抽選
3/21(火・祝)
一般販売スタート!
セイコーゴールデングランプリ 日産スタジアム(横浜)
陸上2023横浜 2023.05.21

第107回 日本陸上 競技選手権大会 JAAF Athletics Championships
OSAKA 2023/6.1-4
大阪市・ヤンマースタジアム長居
ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会
山形県(2)は、7月10日(土)に陸上競技選手権大会を主催いたします。

JAAF
全員と闘え。
種目を超えた、陸上競技の新たな闘い。
日本グランプリシリーズ 4.8開幕 JAPAN GP
2023 SEASON

陸連時報編集委員

◇編集委員

- 尾縣 貢 (陸連会長)
- 黄倉 寿雄 (陸連副会長)
- 瀬古 利彦 (陸連副会長)
- 有森 裕子 (陸連副会長)
- 風間 明 (陸連専務理事)
- 山崎 一彦 (陸連強化委員長)
- 鈴木 英穂 (陸連事務局長)
- 石井 亮 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

- 石井 朗生
- ◇時報編集担当
- 日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL : 050-1746-8410
FAX : 050-3588-1869